



みやま



ことこと列車



山で牡蠣祭り

3月9日

乗って残そう！平成筑豊鉄道！を合言葉に犀川駅で開かれたイベントです。多くのおいしそうに牡蠣を食べていました。

また、当日は平成筑豊鉄道の観光列車「ことこと列車」も見ることが出来ました。

3月定例会の結果報告	2~4P
議会の活動報告	5P
9名の議員が町政を問う	6~14P
小学校6年生が議会を傍聴	15P
町内の頑張っている団体を紹介	16P

平成31年度 一般会計予算 **120億9700万円**

平成31年度当初予算は、議員全員で構成する予算特別委員会において、3月6日、7日の2日間、集中的に審議し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

平成31年度一般会計予算は、120億9700万円で、昨年度と比較して22億1200万円の大幅な増額となっています。これは昨年度が、町長選のため人件費・扶助費・公債費などの義務的経費を中心とした骨格予算による編成となっていたためです。

主な事業の内容を要約し報告します。

平成31年度 各会計当初予算額

(単位：千円)

会計別	予算額
一般会計	12,097,000
特別会計	7,031,045
国民健康保険事業	2,517,895
後期高齢者医療	369,970
介護保険事業	2,757,534
保険事業勘定	
サービス事業勘定	35,376
住宅新築資金等事業	3,977
土地取得	290
水道事業	541,390
収益的収支	
資本的収支	427,974
下水道事業	333,316
収益的収支	
資本的収支	39,337
犀川財産区管理会	611
城井財産区管理会	3,375

平成31年度 一般会計当初予算性質別

(単位：千円)

性質別	予算額
人件費	1,548,682
扶助費	1,770,156
公債費	1,044,936
普通建設事業費	2,584,085
災害復旧事業費	49,625
物件費	2,134,462
補助費等	1,028,576
繰出金	1,611,302
その他	325,176
合計	12,097,000

主な新規事業

- ◎ **中型バス購入事業** (担当課：総務課)
老朽化した中型バスを更新します。 **予算額：927万7千円**
- ◎ **旧勝山老人憩いの家外1施設解体事業** (担当課：財政課)
老朽化した施設を解体します。 **予算額：1120万8千円**
- ◎ **ユータウン改修事業** (担当課：総務課)
老朽化した外壁等を改修します。※実際の工事は来年度の予定です。 **予算額：812万6千円**
- ◎ **四季犀館改修事業** (担当課：観光まちづくり課)
老朽化した外壁を改修します。 **予算額：1100万円**
- ◎ **校務支援システム導入事業** (担当課：学校教育課)
効率的な学校運営ができるように導入します。 **予算額：744万3千円**
- ◎ **体育施設解体事業** (担当課：生涯学習課)
老朽化した犀川B&G体育館及び勝山運動公園を解体します。※実際の工事は来年度の予定です。 **予算額：905万5千円**

議案に対する討論

平成31年度みやこ町
一般会計予算

【反対】 柿野義直議員

支所機能は、地域住民が本庁に來なくてもよいように維持すべきであるし、勝山と犀川図書館を廃止することにより図書購入費は約半額に縮小されているが、教育的、文化的環境を町全体として維持するためには3館を維持すべきである。

あいのりタクシーは、2つ以上の地域をまたぐ利用で往復1200円となる。これでは公共交通機関とは言えない。廃止される勝山地区の福祉バスの復活を求める。

豊津地区の児童数の約半分を占める祇郷小学校を豊津小学校に統合する理由がはつきりしない。地域の教育力を引き出し、地域のコミュニティの維持には小学校は大切な役割を果たしている。

【賛成】 柿野正吉議員

この予算は急激に町の衰退を招き、町の元気を失っていくことにつながると危惧し反対の討論とする。

あいのりタクシー事業は、みやこ町を4地区に区割りしている。利用距離とは無関係に1地区300円、2地区以上をまたぐ場合は片道600円となる。往復1200円は、福祉バス等に変わる公共交通には高い料金設定である。早急に見直しを求める。

次に、移動図書館について、教育長は利用者がゼロでないのだからと答弁だった。かたや町長は福祉バスは、1便平均1名の利用状況なので廃止するとの答弁だった。町長と教育長は考えのすりあわせが必要ではないか。また、図書館の利用者動向をどう予測しているのか。行橋市が新図書館を建設中である。完成すれば隣接する勝山地域の一部町民は複合施設である行橋市の図書館を利用

すると予測する。については、斬新なアイデアのある図書館運営を期待する。以上、意見を付し賛成の討論とする。

平成31年度みやこ町
国民健康保険事業
特別会計予算

【反対】 柿野義直議員

国民健康保険は、協会けんぽや組合健保と比べ負担割合が高い。また、組合健保は、労使折半であり所得割しかないが、国民健康保険は、平等割、均等割、資産割、所得割となっている。均等割は、高齢者や子どもにもかかる。子育て支援に逆行している。

高すぎる国民健康保険税を払えず、正規の保険証を取り上げられ病院の受診がおくれ、重症化する事態が起きている。

国の負担を増やし、均等割を止めるなど制度の改革を求め反対の討論とする。

平成31年第1回定例会を2月25日から3月19日までの23日間にわたり開催しましたので、その議決結果について報告します。

平成31年第1回定例会議案議決結果及び議員別賛否一覧表

議案名	議員名	肥喜里雄二	吉竹次男	柿野正喜	中山茂樹	小田勝彦	田中勝馬	飯本秀夫	中尾昌廣	金房眞悟	浦山公明	大東英壽	上田重光	中尾文俊	柿野義直	議決結果
みやこ町副町長の選任について (三隅忠氏を選任)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
みやこ町農業委員会委員の任命について (藤河孝俊氏を任命)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
みやこ町農業委員会委員の任命について (松岡英隆氏を任命)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
みやこ町農業委員会委員の任命について (下田滋之氏を任命)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
みやこ町農業委員会委員の任命について (嶋田光雄氏を任命)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
みやこ町農業委員会委員の任命について (福森猛氏を任命)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
みやこ町農業委員会委員の任命について (山本定信氏を任命)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
みやこ町農業委員会委員の任命について (白川喜作氏を任命)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
みやこ町農業委員会委員の任命について (白川和代氏を任命)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

議長は、採決に加わらない。○は賛成、●は反対。

議案名	議員名	肥喜里雄二	吉竹次男	柿野正喜	中山茂樹	小田勝彦	田中勝馬	飯本秀夫	中尾昌廣	金房眞悟	浦山公明	大東英壽	上田重光	中尾文俊	柿野義直	議決結果
みやこ町農業委員会委員の任命について(田中利夫氏を任命)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
みやこ町農業委員会委員の任命について(持永貞秀氏を任命)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
みやこ町農業委員会委員の任命について(村上高茂氏を任命)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
みやこ町農業委員会委員の任命について(桃井俊雄氏を任命)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
みやこ町農業委員会委員の任命について(九十九実氏を任命)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(井上政弘氏を推薦)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任
平成30年度みやこ町一般会計補正予算(第4号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
権利の放棄について(住宅新築資金等貸付金に係る債権4件)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町農業振興審議会条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町公園条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町森林総合利用施設設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町国民健康保険特別会計基金条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町保健・福祉・コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町学習等供用施設条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町公民館の設置及び運営管理並びに公民館運営審議会の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町B & G海洋センター条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町公営住宅の譲渡に関する条例を廃止する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度みやこ町一般会計補正予算(第5号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度みやこ町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度みやこ町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成31年度みやこ町一般会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
平成31年度みやこ町国民健康保険事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
平成31年度みやこ町後期高齢者医療特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
平成31年度みやこ町介護保険事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
平成31年度みやこ町住宅新築資金等事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成31年度みやこ町土地取得特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成31年度みやこ町水道事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成31年度みやこ町下水道事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成31年度みやこ町犀川財産区管理会特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成31年度みやこ町城井財産区管理会特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町議会の議決すべき事件に関する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議長は、採決に加わらない。○は賛成、●は反対。



中尾文俊議員と大東英壽議員が町村議会議員として23年以上在職し、功労があつた者として福岡県町村議会議員会より表彰を受けました。

また、中尾昌廣議員と飯本秀夫議員が町村議会議員として15年以上在職し、功労があつた者として全国町村議会議長会及び福岡県町村議会議長会より表彰を受けました。

議会の活動を報告します！

全国町村議会議長会及び福岡県町村議会議長会より表彰

活動報告

1月から3月までの議会及び議長の活動を報告します。

月 日	件 名
1月7日(月)	京築広域圏消防本部点検式、広報特別委員会
1月11日(金)	みやこ町新年あいさつ会、築城基地賀詞交換会
1月12日(土)	みやこ町消防出初式
1月13日(日)	みやこ町成人式
1月15日(火)	京築地区水道企業団議会臨時会、広報特別委員会
1月17日(木)	町村議会議員研修会
1月18日(金)	産業建設常任委員会、広報特別委員会
1月26日(土)	上高屋小学校学習発表会
1月30日(水)	京都府議長会視察研修
2月8日(金)	みやこ町社会福祉協議会理事会、京築広域市町村圏事務組合第2委員会
2月12日(火)	地域おこし協力隊及び集落支援員の活動報告会、京築広域市町村圏事務組合消防委員会
2月13日(水)	議会改革調査特別委員会
2月15日(金)	基地対策特別委員会
2月18日(月)	福岡県町村議会議長会定期総会、行橋市・みやこ町清掃施設組合議会定例会
2月19日(火)	上毛町議会正副議長新任挨拶
2月24日(日)	第13回三重塔まつり
2月25日(月)	みやこ町認定農業者の会講演会
2月26日(火)	京築地区水道企業団議会定例会
2月27日(水)	伊良原ダム対策特別委員会
3月1日(金)	総務常任委員会
3月3日(日)	第9回林酒造蔵開き新酒まつり、平成筑豊鉄道「ことこと列車」プレ運行
3月4日(月)	産業建設常任委員会、表敬訪問(全国高等学校選抜卓球大会)
3月5日(火)	文教厚生常任委員会、みやこ町社会福祉協議会理事会
3月8日(金)	町立中学校卒業式
3月9日(土)	「島山鶴雄」特別企画展開会行事、山で牡蠣祭り
3月16日(土)	町立保育所卒園式
3月17日(日)	文化・芸能フェア開会式
3月18日(月)	町立小学校卒業式
3月19日(火)	広報特別委員会
3月21日(木)	平成筑豊鉄道「ことこと列車」出発式
3月22日(金)	みやこ町高齢者大学合同閉講式
3月24日(日)	第1回伊良とびあ祭り
3月25日(月)	あいのりタクシー全域運行にかかる出発式
3月27日(水)	みやこ町女性学級合同閉級式
3月30日(土)	農林水産大臣賞受章記念祝賀会



みやこ町消防出初式



表敬訪問 全国高等学校選抜卓球大会(青豊高等学校)



あいのりタクシー全域運行にかかる出発式

Q

行政サービスの最適化と 利便性向上について

A

コンビニエンスストアで証明書等が
交付できる



田中 勝馬
議員

Q システムの維持管理に経費が掛かっているが、システムの更新や統合など、更なる財政負担を軽減する取り組みはあるのか認識を示せ。

A 既存システムの財政負担を軽減するためには、町の情報システム・データを外部のデータセンターで運用・管理を行う「自治体クラウドの導入」や「共同利用センターの活用」など検討し、経費の削減と抑制に努める。

Q マイナンバーカードへの切り替えを進めることが長期的に見ても得策と考えるが、切り替えをどのよう

に進めていくのか。

A 本年度6月からコンビニエンスストアで証明書等が交付できるサービスを開始したことを機に、休日やイベント時に臨時窓口を開設しインターネットでの申請支援やカード交付を行っている。

道路行政について

Q 犀川久富線の早期開通と豊津丸食前から今川線へのバイパスの検討を急げ。

A 犀川久富線は、平成30年度に地元説明会、31年度

より用地の補償交渉を行う。

豊津丸食前からのバイパスは、町単独での実施が難しいことから、福岡県に県道豊津・椎田線の延伸工事として、事業化に向け働きかけていく。

Q 「豊津支所入口から錦ヶ丘の変則交差点までの道路は狭く交通量も多い。犀川方面から来る車はスピードを落とさず非常に危険である。一方通行等はできないか。」と町民の声があるが。

A 病院等の問題もあり一方通行は難しい。学校建替えの際に、セツトバック等が出来ればということの基本計画の中で検討している。

医療費について

Q 後期高齢者支援金や介護納付金などの制度的抑制による支出もあり、国保財政は厳しい状況、医療費増加の課題に対しどのように取り組むのか認識を示せ。

A 住民が後期高齢者とな

る年に、職員が、全員を個別に訪問し医療や生活習慣病に対する適切な助言をすることで医療費の抑制に努めている。

Q 特定健診やがん検診の受診率は。

A 特定健診やがん検診受診率は、全国平均や福岡県平均より高い。

Q がん検診の無料化は出来ないか。

A 自己負担は、負担の公平を図るもので近隣の自治体に比べ低い。

住宅行政について

Q 犀川下高屋住宅の集約化について。

A 集約して入居できるまでには多額の費用がかかるため実施は困難である。



豊津下本町バス停付近



柿野正喜 議員

地域移動図書館車の 利用状況は 極めて少ない

極めて少ない

Q 地区別利用者数の状況資料を頂いたが平成29年度では年間17人、30年度は光

富地区(豊津) 0人、下木井公民館(犀川) 5人、崎山公民館(犀川) 5人、諫山活性化センター(勝山) 14人と極めて少ない数であるがこの状況はいつ頃からか。

A (教育長) 平成26年度運行当初から。

Q 教育長はこの状況の報告を受けてこの制度についてどう考えたか。

A (教育長) うまくいっていない現状にあるが止める決断ができなかった。今後については、どんな方法があるか協議をしている。

(意見) 提案するが図書館に行きたいが行けないハンデ

イを持つ方に対する援助に、月1回の仮称であるが図書館デーを設け、あいのりタクシー等での送迎サービスを試みてはどうか。

みやこ町図書館規則「抜粋」

(業務)
第2条 図書館は、図書館法(昭和25年法律第118号)第3条の規定により、次の業務を行う。
(7) 児童に対する読書啓発と利用援助
(8) 障害者等図書館利用にハンディキャップを持つ人たちに對する利用援助
(報告)
第4条 館長は、年間の業務、事業の状況について、毎年度教育長に報告しなければならない。

巡回バス

Q 公的施設の統廃合は目的の確保が前提条件ではなかったか。町民の機動力の確保に旧町間の定時巡回バスを導入すべきではないか。

A 旧町間に巡回バスを導入しても

沿線以外の住民にとつて不便さが生じる課題を残す。

町としては利便性の高い交通手段としてドア・ツー・ドアで利用が可能なあいのりタクシーを3月25日から町内全域で運行する。

有害鳥獣対策

Q 里山は人にとって獣が往来する危険な状況になっているのでは。被害防止に猟期の変更または長期化した捕獲頭数を増やすべきではないか。

A 猟期については鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律により10月16日から翌年4月15日までと定められている。



Q 捕獲員の現員数と増員計画はあるか。

A 捕獲員数は、わな猟24人、狩猟15人に許可している。増員については助成金交付要領に基づき免許取得者へ助成を行うことで狩猟者を増やす取り組みを行っている。

Q 10月には稲は実っているが猟期をなんとかイノシシ被害に遭う前に変更できないか。

A 法律で決められているので猟期の変更は難しい。

Q 町の児童虐待件数は

A 多い年で22件、平成29年度で12件



柿野 義直 議員

Q どのように情報をつかもつとしているか。

A 乳児家庭全戸訪問、各期の児童相談・児童健診や養育支援訪問事業で直接に接するときや住民、病院、学校、保育所などからの情報収集に努めている。また、町の広報誌や人権だよりに発見した場合の通報等に関して掲載している。

Q 虐待事例はあるか。

A 平成29年度では身体的虐待3件、育児放棄9件である。

Q どう対応するのか。

A 情報が寄せられたときは、まず子供の安全確認をする。次にケース会議を開き情報を得て担当者の実務者会議で取り組む。

Q どんな機関が参加しているか。

A 要保護児童対策地域協議会に1件1件の案件についての個別検討会議がある。児童相談所、保健福祉環境事務所、警察署、教育委員会、小中学校校長会、人権擁護委員会、民生児童委員、社会福祉協議会、保育協会に対応している。

Q 高齢者を支える

Q 高齢者世帯の現状をどう見ているか。

A 高齢化率（65歳以上）

は38.9%である。高齢者の1人暮らしは21.5%（1849世帯）、高齢者の夫婦世帯は18.1%（1555世帯）であり、合わせて約40%が高齢者のみの世帯となっている。

また、高齢者のいる世帯は全世帯の6割を占める。

Q 高齢者等専用の窓口を作ってほしい。

A 高齢者の総合的な窓口として地域包括支援センターがある。センター職員と一緒に、いま一度話し合っていきたい。

Q 福祉バスの復活を求める。

A 平成30年度末で廃止する。あいのりタクシーは利便性が高く利用してもらいたい。

勝山、犀川の図書館の継続を求める

Q 町総合計画の32年度目標に図書館機能の充実、利用者6万人、利用書籍数25万冊と掲げている。達成できるか。

A 3つを1つにした場合には厳しいと思う。

Q 統合で豊津の図書館まで行くのにあいのりタクシーを利用すると往復1200円かかる。

A 犀川、伊良原、勝山の豊津地域に分け、2つ以上の地域にまたがる利用は片道600円（往復1200円）としている。

(意見) 町の全公共施設の利用の高い順（利用度加重平均）にサン・グレートみやこ、豊津、犀川、勝山の図書館となっている。3館の維持を求める多くの声がある。町民の声に耳を傾けなければならない。

平成29年度 図書館の利用状況

	貸出冊数	貸出人数
中央図書館	91,115	25,165
犀川図書館	34,179	8,857
勝山図書館	65,840	16,140
移動図書館車	16,097	4,148
合計	207,231	54,310

※みやこ町図書館要覧より



飯本 秀夫
議員

Q

野良猫対策を問う

A

31年度中に取り組みを開始する

Q みやこ町では、野良猫に対する苦情等が無いので、対策は行っていないとあるが、町内の有志の方々が、自費で手術費の負担や、世話をしているため、苦情が無い、或いは相談窓口が分からない等が考えられる。野良猫対策に取り組んでいる自治体もあるが、みやこ町の現状では、地域住民

の力を借りなければ解決できない。福岡県では地域猫活動に取り組む市町村には、不妊や去勢の手術費を負担するところがある。みやこ町は、地域猫活動事業に取り組むのか、並びに町の相談窓口は何課か、及び当該地域の獣医師会窓口を問う。

Q 地域猫活動事業の要綱が31年度より、内容の一部に変更があるため、年度内に取り組みを開始する。

A みやこ町の相談窓口は、住民課。地域の獣医師会窓口は、苅田町の「こが動物病院」である。

迷惑樹木

Q 危険な交通の妨げになっている樹木、或いは隣の家や土地に覆いかぶさっている木々、いわゆる迷惑樹等には、町が積極的に介入できないと考えるが、定期的に広報紙等で呼掛けできないのか問う。

A 区長や近隣住民が、所有者に対して声を掛け易いように、広報紙或いは防災無線等で啓発する。

河川の防災対策

Q 昨年今川水系で数箇所氾濫したが、農業用水路等の整備と併せて、河川への入水口付近を整備する事で、氾濫は防げたと考える。

A 地元要望により、水路等の整備は行っている。また、河川の整備は、随時要望しているが、今後は危険箇所のパトロールを強化するとともに、県に対して、浚渫を強く要望する。

荒廃農地対策

Q 農業者の高齢化が進み、耕作放棄地が増えているが対策を問う。

A 農業委員会としては、耕作放棄地の洗い出しを行うとともに、所有者と農地再生の意思について協議しているが、指摘のように関係機関の協力を得ながら、再生農地の受け皿となる農業者の確保並びに、農地の除外も含めて検討していく。



昨年の豪雨災害による被災状況（崎山）

Q

いじめ・体罰・不登校・児童虐待等々、教育現場の課題にどう対応しているか

A

チーム教育委員会として課題解決に取り組んでいる



吉竹 次男
議員

Q 学校は、学級や学年が児童生徒の心の居場所となるよう、また、安心・安全という保障の中、子どもたちが学び合い、心のつながりを感じさせる絆づくりが大切であると考えます。教育委員会として、校長の経営課題にどう連携・支援しているか。

A (教育長) 学校経営における多くの困難な状況を改善し、学校経営を活性化するため、学校と教育委員会が様々な課題について共通理解をするとともに対応策を協議し、解決に当たっている。

Q 中学校の統合の必要性について、様々な意見を聞く。今後どのように進めようとしているのか。

A (教育長) 中学生が多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することが出来る適正規模の中学校を維持するため、統合は必要なものと考えている。

Q 豊津中・犀川中を1校に統合、勝山地区は小中一貫校を設置等、一律に3校を1校ではなく、多様な方策を検討してほしい。

A (教育長) 1学年は3学級程度、80人程度の人数がいる学校の方が、教育効果があがるのではないかと考えている。

福祉政策について

Q 地域をつなぐコミュニティの場としてサロン活動が展開されている。現在の活動状況は。

A 町が実施している「サロンパス事業」及び、みやこ町社会福祉協議会で行っている「ふれあいいきいきサロン」があり、互いに連携を取りながら実施している。平成31年末現在35か所で自主的な活動が行われている。

Q 次期のボランティア精神を持った子供の育成には、場づくりが必要。オレンジカフェで小・中学生の認知症サポーターの活躍する場を。

A (教育長) 社会教育の中で取り組むことは十分可能。

子育て・定住政策について

Q 子育て・定住支援政策事業のPR活動は。

A 昨年9月に定住促進のリーフレットを作成し、役場など窓口への設置やホームページ等への掲載、様々な会場で配布するなどPRした。

さらに、商業施設や住宅展示場等を訪問し、子育て世代の来客者用として設置するとともに、北九州市や苅田町の企業を訪問し、従業員が集う場所に設置した。



光富いきいきサロンの様子



中山 茂樹
議員

Q

農道の整備計画は

A

地元負担金が生じる

Q 農地の圃場整備はほとんどの地域で終わっている。圃場整備された大きな団地の中には、未舗装の農道がありデコボコがある。大型農機具の通行に危険で、人命に関わる事故防止のために舗装が必要であるが、今後の舗装計画を尋ねる。

A 農道などの改良工事は、地元行政区の要望により実

施しているが、地元負担金が事業費の2割必要である。そのため地元区としての計画、協議後となっている。分担金の確保が出来れば、県の補助金等を活用し工事を施工したい。なお、町主導での工事計画はない。

車の離合場所の確保

Q 町内には、車の離合ができない場所が多くある。町として、車の離合場所の確保にどのように取り組むか。

A 地元行政区の要望により、順次道路改良工事を実施している。しかし、用地の確保等どうしても地元区の協力が不可欠であるため、町主導の整備計画はない。要望があれば現地確認後、精査し、拡張工事等を実施したい。

小規模災害復旧工事

Q 災害復旧工事に関して、県の査定を受けて通過した大きな災害復旧工事は、県等の補助金も出て工事が進んでいるが、小規模な災害のところは手が付けられていない状況である。小さな災害場所を早く町として工事をすることが、今後の大きな災害を防ぐために必要であるが、町の対応を尋ねる。

A 現在復旧に向け、国の査定を受けた26箇所は全て採択され、復旧工事を発注している。しかし、査定対象外169箇所のうち、町管理の公共物7箇所を町単独災害復旧工事で施工し、地元管理の農業用施設162箇所は、小規模災害復旧工事等に対応している。なお、個人財産である山林等については、国、県の採択基準に適合されなければ、町として助成することが不可能な状況にある。

A 平成30年7月5日から7日の豪雨災害により、町道を初め、河川や林道、ため池や井堰、みやこ町全域で195箇所が被害を受けた。

現在復旧に向け、国の査定を受けた26箇所は全て採択され、復旧工事を発注している。しかし、査定対象外169箇所のうち、町管理の公共物7箇所を町単独災害復旧工事で施工し、地元管理の農業用施設162箇所は、小規模災害復旧工事等に対応している。なお、個人財産である山林等については、国、県の採択基準に適合されなければ、町として助成することが不可能な状況にある。

公園のごみ処理

Q 犀川の本庄池、豊津の八景山公園、勝山の仲哀公園のごみ処理はどのようにしているか。

A 都市整備計画において

管理している公園は10箇所あり、基本的なごみ処理、簡易な草刈りは、地元老人会やシルバー人材センターと年間契約し、大がかりな草刈り、樹木の剪定、伐採などは適宜行っている。良好な環境を保ち、来訪者に快適に利用していただけるよう努めている。



仲哀公園

Q

企業誘致、 どう取り組まれたか

A

自動車関連企業の進出計画がある



金房眞悟
議員

Q 企業誘致については、旧町時代からそれぞれ努力している。そのような中、ユニプレス工業(株)が進出し40年が経過した。有力企業で税収や雇用等は大きなものがある。「共に生きる企業とまちづくり」更なる誘致に努力を。

A 企業誘致については、雇用の確保や税収の増加など、町の活性化施策として積極的に取り組んでいる。なお、平成19年度から3社が進出した。また、来年1月にも自動車関連企業が進出する予定である。

町財政について

Q 国作団地造成事業は。

A 販売実績は13区画で、投資額約8000万円、販売額約3500万円である。

Q 単独町費約4500万円投入。費用対効果は。

A 固定資産税や町民税等の税収入と販売額で約15年後に経費の回収を見込んでいる。

医療保険制度について

Q 現状と課題は。

A 国民健康保険制度は、国民皆保険体制のもと昭和36年に医療制度の基礎として、今日まで重要な役割を担っている。平成30年度からは、法改正により町と県が協力して運営を行っている。課題は、高齢化による医療費の増加や加入者減少による保険税の減収である。

後期高齢者医療制度は、平成20年度から運用が始まった。75歳以上の方が被保

険者となり、全市町村が加入する後期高齢者広域連合が主体となり運営を行っている。

課題は団塊の世代の加入による医療費の増加である。介護保険制度は平成12年に、高齢者を社会全体で支える仕組みとして始まった。

本町は、「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、たとえ介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域に根ざした福祉の充実と質の向上に取り組んでいる。

課題は、高齢比率の上昇に伴い要支援、要介護状態となるおそれの高い後期高齢者の増加が加速すると見込まれる。

道路建設について

Q 国道201号は、主要

国道でもあるも町内区間のみ片側1車線である。旧町時代から国や県へ陳情するも実現しない。改良の見通しは。

A 国道や県道は、各道路管理者に地元行政区からの改善内容などを要望している。



国道201号 (ポートピア勝山前)



熊谷 みえ子
議 員

Q 就学援助制度の対象者の拡大・充実で、教育費の負担軽減策を求める。

A (教育長) 平成31年度に国の標準単価が見直され、支給額が増額となることから見直す。

給食費、校外活動費、修学旅行費は援助限度額の範囲内で実際にかかった額を支給し、教育費の負担を軽減している。

Q 新入学児童生徒学用品費支給事業(入学準備金)の周知状況はどうか。

A (教育長) 小学校入学準備金の周知は、入学予定の児童の保護者へ就学前健康診断の案内通知と就学援助入学準備金交付のお知らせを送付する。広報紙やホームページに掲載し、周知を

子育て応援の町に 就学援助制度の さらなる充実を図る

行っている。

Q 国民健康保険制度の改善を国保の広域化によって保険料の引き上げにつながるらないよう、また一律に保険証の取り上げをしない様に求める。

A 現時点では、町独自の減免制度の新設は大変厳しい。

Q 今回は子育て応援の立場から、子どもの均等割の免除制度の創生を求める。安心して医療を受けられるように、全国25の自治体でスタートしている。

Q みやこ町は均等割で1人につき医療分が2万円、後期高齢者医療支援分が6000円。平等割は1世帯につき2万円、支援分は7000円、この均等割の医療分のみでも補助ができないか。

平成31年度みやこ町就学援助費 (予定)

(単位：円)

援助項目	援助限度額		備 考
	小学生	中学生	
給食費(月額)	4,190	5,010	
学用品費(年額)	11,520	22,510	
通学用品費(年額)	2,250	2,250	1年生以外
新入学学用品費	50,600	57,400	1年生
入学準備金	57,400		6年生
校外活動費	3,650	6,150	宿泊あり
	1,580	2,290	宿泊なし
修学旅行費(標準)	20,000	60,000	実費

※今年度の要保護児童生徒援助費補助金予算単価を参考に6月頃決定

A 子育て世帯に対する負担軽減は、子育て支援や少子化社会に対応するため重要であると認識している。子どもに係る均等割額の軽減措置の導入は、全国知事会などを通じ国会に要望、その動向を注視してまいりたい。

統括する危機管理課の設置を求める

Q 全町を把握するため日常的体制をつくること。各課の地域防災の連携をとること。

A 地域における定期的な防災訓練の実施に取り組んでいく。

Q

施設の統合は住民に十分な説明を

A

実情に合った施設の適正化を進める



中尾 文 俊
議 員

Q みやこ町が発足して13年、少子高齢化と人口減少が進んでいる。町民に過度な負担をかけない財政の削減と確保は重要である。

A 豊津、犀川支所は4月で移転するが、同様な施設がまだ多くある。将来を展望し、子や孫に負担を残さないため、早急な行財政改革の推進が必要と考えるかがか。実行の際には、町民への十分な説明と理解が必要だ。図書館は、犀川、勝山の図書機能を廃止し、新聞、雑誌等で憩いの場になると理解している。移動図書館車を月に2回、憩いの場へ配車することで、行

革の推進と住民の要望が叶うと考えるかがか。

A みやこ町の将来展望は、増加する社会保障費や少子高齢化に伴う人口減少が懸念される。将来に負担を残さないため、施設の統合を検討し、実情に合った施設の適正化を検討している。今後も、人口減少対策や多種多様化する住民ニーズにスピード感をもって取り組み、行財政改革を積極的に推進する。図書館は、提案も含めて検討しながら進める。

デマンドタクシーの運行を問う

Q 3月25日に豊津地区へデマンド（のりあい）タクシーが導入される。みやこ町全域で利用できるようになる。しかし、旧町へ渡る利用は金額が片道600円、往復で1200円かかる。伊良原地域もわかりである。利用者の減少が心配される。

みやこ町が一つでない証明ではないか。片道は一律300円の考えはいいかがか。

A 専用電話の導入は、普通タクシーと区別でき良いが、高齢者が分かりにくい時間帯を廃止、あるいは増やすべきと考えるかがか。

A 勝山、犀川間で相互乗り入れができなかったが、豊津地区の導入により町内全域で可能になる。今後の料金は、利用状況や財政状況を踏まえ、住民ニーズに対応できるように検討する。また、予約しやすくするため、会員登録を検討する。皆さんが安く利用できるよう運賃体系の見直しは、推移を見ながら将来の検討課題とする。

生活環境の整備を問う

Q 犀川末江の事故防止対策は手つかずだが、今後の対応はいいかがか。

A また、水道は敷設に比して加入戸数が少ない。当町

の取水量を考えると、加入戸数の増加が必要である。戸数は少なくとも全戸が加入を要望している地区には対応すべきである。

道路整備をはじめ、大小規模災害復旧など、住民の切実な要望の解決は財政負担が伴うが、行財政改革やふるさと納税などで対処すべきと考えるかがか。

A 末江交差点は、地元と協議しながら前向きに取組んで行く。水道の加入戸数は、担当課と相談を進める。

(意見) 議員を退くにあたり、町長はじめ執行部の皆さん、議員各位には、みやこ町発展に尽力されることをお願いして終わります。ありがとうございました。

地域の将来を考える子どもたち!

～ 城井小学校・上高屋小学校の児童が議会を傍聴 ～

2月25日の議会で城井小学校と上高屋小学校の6年生の子どもたち5名が傍聴に来ました。子どもたちの目に議会はどのように映ったのでしょうか。感想文を頂きましたので、少しですが、ご紹介いたします。

☆ぼくは、議会傍聴をして、まずおどろいたのは議場が立派だったことです。議場に入ったら最初に表彰をしていました。4人の議員が長く議員をつづけたので表彰されていました。

表彰の次に議会が始まりました。井上町長が前に立って水を飲んでから施策方針をたくさん話していました。話が早くてうまく聞きとれませんでした。地球温暖化や観光、町づくり、伊良原ダム、農業、シカやイノシシについての対策などを話していました。難しかったです。

その次にそれについての話をしていました。意見がないときは「いぎなし」と言っていました。また、その次の話では賛成の人は立っていました。

ぼくは議会傍聴をして、議員や他の人たちが、みやこ町の人、観光する人のことを考えて話をしていたのですごいと思いました。また、長く議員を続けていた人も難しい仕事を続けたので、かっこいいと思いました。



節丸・柳瀬小学校6年生 議長室にて

☆ぼくは、議会を傍聴して一番おどろいたのは、賛成の時には起立するという事です。ぼくは、手を挙げるけど、議会の時には起立するというのが分かりました。

分かったことは、みやこ町では、「少子高齢化」や「地球温暖化」の改善に取り組んでいるという事や、「成人式」や「三重塔祭り」があったということです。議会の中の様子もよく分かりました。議長席、事務局長席などがあることが分かりました。みやこ町では、特産品のイノシシ、シカ、ブロッコリー、カリフラワー、あまきやべつなどを活かした町づくりを進めているという事が分かりました。みやこ町のスローガンは、「元気で安心して生活できる町づくり」ということも分かりました。

議会は、とても難しいと思いました。でも議員さんは難しいことを話していたので、すごいなあと思いました。また、議会を見に行きたいです。

傍聴に来てくれて
ありがとう!
また、勉強に
来てね☆



議会傍聴のご案内

住所・氏名を記入するだけで、どなたでも傍聴することができます。議員の生の声や表情を議場で見学してみませんか。

次回、6月定例会の招集日は、6月10日の予定です。詳細については、決定次第、ホームページや防災無線等でお知らせします。

なお3月定例会の傍聴者は18名でした。

※本会議は、本庁及び各支所ロビーに設置しているテレビで中継しています。また、町のホームページでも平成29年12月定例会よりインターネットによる映像配信を行っています。お気軽にご覧ください。



がんばっちよる

豊津フレンズ

今年で10年目を迎える豊津フレンズは、現在指導員5名、部員15名（6年生3名、5年生8名、4年生4名）で活動しています。

豊津フレンズは、指導員、チームメイト、保護者の「絆」を大切にしており、挨拶・礼儀をはじめ、ソフトボー



ルの楽しさ、親への感謝を感じる事が出来る様に指導しています。

今年2月には新体制での初の大会があり、子どもたちの頑張りもあり優勝する事が出来ました。

チーム一丸となって勝ち取った子どもたちの笑顔は最高に輝いてました。今年は常勝チームを目指して、笑つ、

日々の練習を頑張っています。練習時間は土曜日が8時～13時で日曜日は8時～12時となっています。

試合は年間通してあり、主には日本ソフトボール協会が開催する全国まで



通ずる大会と各地区が開催するオープン大会等に参加しています。大会数は年間で約25大会に出場しています。初心者、低学年、女の子等々大歓迎です。少しでも興味のある方はいつでも見学・体験が出来ますので豊津小学校グラウンドに足を運んで下さい。

小学生ソフトボールチーム

豊津フレンズ

代表 山口 一也

TEL 080-3940-1146



編集後記

いよいよ新時代の始まり。新元号は「令和」に決定。出典は日本最古の歌集「万葉集」の梅花の歌32首の序文「初春の令月にして気淑く 風和ぎ 梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫らす」から引用とのこと。厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、咲き誇る梅の花のように、一人一人の日本人が明日への希望と、それぞれの花を大きく咲かせることができる日本でありたいとの願いが込められている。

折しも、みやこ町でも4月のみやこ町議会議員選挙によって14名の新議員が決定しました。少子高齢化社会への対応、行財政改革等々が喫緊の課題となるみやこ町議員一人一人が町民の代表としての自覚と責任を持って、住んでよかったと思える町づくりに邁進しなければなりません。

吉竹 次男

議会広報特別委員会

委員長	田中勝馬
副委員長	柿野正喜
委員	肥喜里雄二
委員	吉竹次男
委員	中山茂樹
委員	飯本秀夫
委員	熊谷みえ子
発行責任者	

